

平成29年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	特定非営利活動法人くしろ・わっと
事業名	防災のまちづくり市民ワークショップ開催事業
課題テーマ	安心して暮らせる都市
事業提案の背景	釧路は地震、津波、火山などの災害リスクを多数かかえた地域であり、いつ発生してもおかしくない災害に対する十分な対策と、市民レベルでの防災リーダー養成の必要性が一時も早く迫られていること。
事業目的	釧路における市民レベルの防災力向上、市民防災リーダーの養成を目的とし、実践を交えたワークショップを行って防災減災に対する理解度を高め、災害時に率先して行動する市民を増やす。
事業概要	特定非営利活動法人日本防災士機構認定防災士の辻川実氏を主任講師として、平成29年6月から平成30年3月までの期間に市民活動センターの会議室で市民ワークショップを7回と終了式を実施し、市役所防災庁舎での実践的避難訓練を7月に1回実施。
事業展開	<p>第1回ワークショップ：6月17日（開講式） 釧路を取り巻く災害環境とイザという時の行動を考える。</p> <p>第2回ワークショップ：7月15日 避難所ではどんな事が起こる？図上避難訓練「HUG」 避難訓練実施：7月29日 防災庁舎内避難体験・Doはぐ体験・災害時の炊出し実演</p> <p>第3回ワークショップ：9月16日 避難所の質を上げるために・ペットとの非難について</p> <p>第4回ワークショップ：10月21日 釧路を安心して楽しい街にするために</p> <p>第5回ワークショップ：11月18日 防災・減災って何のために取り組むのか</p> <p>第6回ワークショップ：12月16日 身近なところを安全にするために</p> <p>第7回ワークショップ：1月20日 切迫する巨大地震に打ち勝つためにできる事</p> <p>第8回終了式：3月3日 わっと防災アドバイザー認定式</p>
成果目標の達成状況	<p>①市民の日常的な防災・減災に対する備えを培うことができた。</p> <p>②災害時に必要とされる市民防災リーダーを育てることができた。</p> <p>③市役所防災庁舎などの避難所での過ごし方を体験することができた。</p>
波及効果の達成状況	<p>①ワークショップ参加者が市民防災リーダーとなることによって、自分が所属する地域や職場の人たちの防災・減災意識を高めていくことができた。</p> <p>②各地域の避難施設での避難生活運営法の訓練を実践的にすすめていくきっかけとすることができた。</p>

実施体制	特定非営利活動法人くしろ・わっと理事者、市民活動センター職員及び防災士辻川実氏、防災士助手計6人の「防災ワークショップ委員会」を組織し、ワークショップの企画運営にあたる。なお、ワークショップ開催時には、他のわっとの役員及び職員12人も実施に携わる。
連携した市担当課	無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> (総務 部 防災危機管理 <input checked="" type="checkbox"/> 課・室)
連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)	市役所防災庁舎での避難訓練実施における協働体制。市民への防災ワークショップの呼掛けへの協力

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	180,000	
自己資金	125,925	
合 計	305,925	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
謝礼	30,000	ワークショップ講師等謝礼 5,000×6回
消耗品費	137,710	コピー用紙、封筒、マジック、コート紙他
役務費	117,180	広告費、街頭放送、振込手数料
使用料・賃借料	15,035	防災庁舎前広場使用料
旅費	6,000	講師、助手交通費
小 計	305,925	
対象外経費		
小 計	0	
合 計	305,925	